平成25年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名　一正蒲鉾株式会社　　上場取引所　大
コード番号　2904　URL　http://www.ichimasa.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 野崎　正博
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長　(氏名) 滝沢　昌彦　TEL 025-270-7111

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第2四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	17,634	1.8	1,204	△19.8	1,197	△20.3	636	△5.4
24年6月期第2四半期	17,320	5.1	1,502	23.8	1,502	24.6	672	1.1

(注)包括利益　25年6月期第2四半期　658百万円　(△14.6%)　24年6月期第2四半期　771百万円　(19.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第2四半期	68.75	―
24年6月期第2四半期	72.62	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年6月期第2四半期	24,089	7,256	30.1	783.60
24年6月期	20,035	6,690	33.4	722.48

(参考) 自己資本　25年6月期第2四半期　7,256百万円　24年6月期　6,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	―	0.00	―	10.00	10.00
25年6月期	―	0.00			
25年6月期(予想)			―	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 6月期の連結業績予想(平成24年 7月 1日～平成25年 6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,400	2.0	1,570	△17.4	1,600	△15.1	770	6.2	83.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) マルス蒲鉾工業(株) 、 除外 ―社 (社名)
(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期2Q	9,295,000 株	24年6月期	9,295,000 株
② 期末自己株式数	25年6月期2Q	35,045 株	24年6月期	34,545 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期2Q	9,260,098 株	24年6月期2Q	9,261,815 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成24年７月１日～平成24年12月31日）におけるわが国経済は、復興事業等を背景として回復基調にはあるものの、電気料金の引上げや消費税増税に対する懸念、また、欧州や中国などの海外経済減速の影響などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、厳しい雇用情勢や節約志向・低価格志向の浸透、例年にない気温の影響などにより、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の確保に努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高176億34百万円（前年同四半期比３億13百万円（1.8%）の増加）、営業利益は12億４百万円（前年同四半期比２億97百万円（19.8%）の減少）、経常利益は11億97百万円（前年同四半期比３億５百万円（20.3%）の減少）、四半期純利益は６億36百万円（前年同四半期比35百万円（5.4%）の減少）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下のとおりであります。

①　水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、消費の低迷、引き続くデフレと激化する小売業における価格競争の環境のなか、依然として厳しい状況が続いております。

昨夏は８月のお盆明けも猛暑が続き、９月においては北日本を中心に観測統計開始以降で最も高い気温となり、水産練製品の需要にとっては厳しい環境でありましたが、10月中旬以降は秋らしい気候となり、需要は活性化してまいりました。

このような環境のなか、主力商品のリニューアルによる商品力の向上に加え、商品育成を目指した販売促進の強化を図ってまいりました。また、秋冬期間の主力商品である「おでん」商品群においても、おでんセット・おでん種・調理済みおでんの商品力強化と販売強化を推進してまいりました。

さらに、12月のおせち商品群におきましては、伝統的なおせち志向への対応は勿論のこと、適量・少量ニーズ、健康志向ニーズに対応した商品の品揃えなどを強化し、おせち商品の総合力を高めてまいりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は149億79百万円（前年同四半期比４億６百万円（2.8%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は６億99百万円（前年同四半期は９億34百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

②　きのこ事業

当セグメントにおきましては、昨夏の記録的な猛暑や残暑の影響による野菜相場及びきのこ相場の低迷により平年価格を大幅に下回る厳しい相場で推移いたしましたが、秋以降、気象条件の変化が野菜相場の上昇につながり、かつ販売強化を継続的に取り組んだことにより販売量は前年同四半期を上回ったものの、売上高・利益ともに前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は22億52百万円(前年同四半期比90百万円（3.9%）の減少)、セグメント利益（営業利益）は４億52百万円（前年同四半期は５億28百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

③ その他

（運送・倉庫事業）

運送事業におきましては、既存のお客様との取引深耕に加え、新規のお客様との取引拡大が寄与したことにより、売上高・利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、秋以降、入庫量は増加したものの、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。一方、利益面では効率的な庫内管理に努めた結果、前年同四半期を上回る結果となりました。

（ゴルフ場事業）

ゴルフ場事業におきましては、個人消費の低迷や競合コースとの価格競争に加え、夏季の猛暑、秋季における低温、4月・12月初旬の降雪によるクローズなどの影響を受け、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は４億２百万円（前年同四半期比２百万円（0.6%）の減少）、セグメント利益（営業利益）は48百万円（前年同四半期は37百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（イ）流動資産

当第２四半期連結会計期間末における流動資産の残高は97億３百万円（前連結会計年度末比36億17百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による売掛金の増加によるものであります。

（ロ）固定資産

当第２四半期連結会計期間末における固定資産の残高は143億86百万円（前連結会計年度末比４億36百万円の増加）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

（ハ）流動負債

当第２四半期連結会計期間末における流動負債の残高は117億19百万円（前連結会計年度末比40億69百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による支払手形及び買掛金ならびに短期借入金の増加によるものであります。

（ニ）固定負債

当第２四半期連結会計期間末における固定負債の残高は51億14百万円（前連結会計年度末比５億80百万円の減少）となりました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。

（ホ）純資産

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加により72億56百万円（前連結会計年度末比５億65百万円の増加）となりましたが、自己資本比率は季節的要因による流動負債の増加により、前連結会計年度末の33.4%から30.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ27百万円増加し、５億78百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（イ）営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は77百万円（前年同四半期は５億６百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上によるものであります。

（ロ）投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって支出した資金は11億87百万円（前年同四半期は12億27百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（ハ）財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって調達した資金は11億37百万円（前年同四半期は15億35百万円の調達）となりました。これは主に、短期借入金の増加及び長期借入金の返済による支出によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年７月27日発表の通期の連結業績予想につきましては、変更ありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第２四半期連結会計期間において、マルス蒲鉾工業株式会社の全株式を取得し子会社化したため連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社（一部の連結子会社を除く）は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年７月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第２四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年６月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	927,938	837,182
売掛金	2,788,882	6,063,168
商品及び製品	415,943	844,905
仕掛品	454,452	488,296
原材料及び貯蔵品	1,328,894	1,204,412
その他	169,914	266,098
貸倒引当金	△824	△952
流動資産合計	6,085,201	9,703,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,453,744	5,353,596
機械装置及び運搬具（純額）	2,298,421	2,458,767
工具、器具及び備品（純額）	133,709	140,071
土地	3,573,193	3,577,074
リース資産（純額）	38,117	40,268
建設仮勘定	－	85,260
有形固定資産合計	11,497,186	11,655,038
無形固定資産	284,632	369,911
投資その他の資産		
投資有価証券	1,572,008	1,784,024
その他	661,905	642,673
貸倒引当金	△65,416	△64,794
投資その他の資産合計	2,168,497	2,361,903
固定資産合計	13,950,316	14,386,853
資産合計	20,035,517	24,089,965
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,768,023	3,308,319
短期借入金	3,308,172	5,354,752
未払法人税等	112,690	585,456
賞与引当金	77,523	74,579
未払金及び未払費用	1,551,797	1,840,276
その他	832,084	556,224
流動負債合計	7,650,292	11,719,608
固定負債		
社債	1,760,000	1,640,000
長期借入金	3,358,515	2,874,509
退職給付引当金	1,284	1,483
役員退職慰労引当金	128,322	145,446
その他	446,589	452,809
固定負債合計	5,694,711	5,114,248
負債合計	13,345,003	16,833,856

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年６月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	4,806,449	5,350,412
自己株式	△17,245	△17,487
株主資本合計	6,379,203	6,922,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	311,310	333,182
その他の包括利益累計額合計	311,310	333,182
純資産合計	6,690,514	7,256,108
負債純資産合計	20,035,517	24,089,965

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年７月１日 至 平成23年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年７月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	17,320,640	17,634,150
売上原価	12,233,638	12,727,699
売上総利益	5,087,001	4,906,451
販売費及び一般管理費	3,584,693	3,701,472
営業利益	1,502,308	1,204,979
営業外収益		
受取利息	209	88
受取配当金	11,200	11,467
受取賃貸料	11,183	10,505
受取手数料	17,141	1,995
雑収入	22,248	24,594
営業外収益合計	61,983	48,650
営業外費用		
支払利息	56,522	52,630
雑損失	4,856	3,612
営業外費用合計	61,379	56,243
経常利益	1,502,912	1,197,386
特別利益		
固定資産売却益	869	536
受取賠償金	－	9,889
特別利益合計	869	10,425
特別損失		
固定資産除却損	8,287	10,498
投資有価証券評価損	62,164	3,345
役員退職慰労金	94,171	－
災害による損失	27,357	－
工場移転費用	97,317	33,300
特別損失合計	289,298	47,144
税金等調整前四半期純利益	1,214,483	1,160,668
法人税、住民税及び事業税	400,965	552,537
法人税等調整額	140,921	△28,475
法人税等合計	541,887	524,061
少数株主損益調整前四半期純利益	672,596	636,606
四半期純利益	672,596	636,606

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	672,596	636,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98,827	21,872
その他の包括利益合計	98,827	21,872
四半期包括利益	771,423	658,478
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	771,423	658,478
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年７月１日 至 平成23年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年７月１日 至 平成24年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,214,483	1,160,668
減価償却費	474,227	580,002
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,411	△590
賞与引当金の増減額（△は減少）	△20,467	△3,553
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△315,775	17,124
受取利息及び受取配当金	△11,410	△11,555
支払利息	56,522	52,630
投資有価証券評価損益（△は益）	62,164	3,345
固定資産売却損益（△は益）	△869	△536
固定資産除却損	8,287	10,498
売上債権の増減額（△は増加）	△3,489,052	△3,125,869
たな卸資産の増減額（△は増加）	△487,202	△314,979
仕入債務の増減額（△は減少）	1,793,733	1,443,122
未払金及び未払費用の増減額（△は減少）	475,155	287,655
受取賠償金	－	△9,889
その他	△61,412	82,726
小計	△303,028	170,799
法人税等の支払額	△202,981	△103,198
賠償金の受取額	－	9,889
営業活動によるキャッシュ・フロー	△506,010	77,489
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	15,928	117,995
有形固定資産の取得による支出	△1,243,965	△1,152,034
有形固定資産の売却による収入	895	1,763
投資有価証券の取得による支出	△3,445	△185,259
投資有価証券の売却による収入	－	5,000
長期前払費用の取得による支出	－	△11,687
利息及び配当金の受取額	12,121	11,924
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	－	22,076
その他	△9,033	2,671
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,227,499	△1,187,550
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,264,000	2,032,000
長期借入金の返済による支出	△574,082	△621,586
社債の償還による支出	－	△120,000
利息の支払額	△53,746	△52,292
配当金の支払額	△92,661	△92,643
その他	△7,573	△8,178
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,535,936	1,137,299
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△197,573	27,239
現金及び現金同等物の期首残高	545,087	551,117
現金及び現金同等物の四半期末残高	347,514	578,356

（4）継続企業の前提に関する注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成24年７月１日　至　平成24年12月31日）

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成23年７月１日　至　平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	水産練製品・惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,572,253	2,343,558	16,915,811	404,829	17,320,640	―	17,320,640
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	800,876	800,876	△800,876	―
計	14,572,253	2,343,558	16,915,811	1,205,705	18,121,517	△800,876	17,320,640
セグメント利益	934,144	528,083	1,462,228	37,683	1,499,911	2,397	1,502,308

（注）1　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

2　セグメント利益の調整額2,397千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成24年７月１日　至　平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	水産練製品・惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,979,197	2,252,677	17,231,874	402,275	17,634,150	―	17,634,150
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	844,587	844,587	△844,587	―
計	14,979,197	2,252,677	17,231,874	1,246,863	18,478,738	△844,587	17,634,150
セグメント利益	699,291	452,346	1,151,637	48,423	1,200,061	4,917	1,204,979

（注）1　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

2　セグメント利益の調整額4,917千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、当社及び連結子会社（一部の連結子会社を除く）は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年７月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる当第２四半期連結累計期間のセグメント利益への影響は軽微であります。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成24年７月１日　至　平成24年12月31日）

該当事項はありません。